１０／９（水）の行事

ウポポイ
民族共生象徴空間
北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時　９月２４日（火）１４時００分

発表項目（行事名）	「公立大学法人公立はこだて未来大学と北海道立工業技術センターの連携・協力に関する協定書」調印式 及び「北海道AI・IoTオープンイノベーション・プラットフォーム オープンセミナー」の開催について		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	

概要

１　「公立大学法人公立はこだて未来大学と北海道立工業技術センターの連携・協力に関する協定書」調印式

道立工業技術センターとはこだて未来大学は、これまで共同研究や事業協力などを進めてきましたが、今後、両機関の交流や連携を一層推進し、地域産業の発展に寄与することを目的に連携協定を締結いたします。

■日時：令和元年(2019年) １０月９日（水）１３：３０～１４：００
■場所：北海道立工業技術センター 研修室 （函館市桔梗町３７９番地）
■内容　①　連携協定調印式
　　　　②　記者会見
■調印者：公立はこだて未来大学　理事長　片桐 恭弘
　　　　　北海道立工業技術センター センター長　三浦 汀介

２　「北海道AI・IoTオープンイノベーション・プラットフォーム オープンセミナー」

■日時：令和元年(2019年) １０月９日（水）１４：３０～１７：００
■場所：北海道立工業技術センター 会議室 （函館市桔梗町３７９番地）
■内容　① 主催者あいさつ
　　　　　公立はこだて未来大学、北海道
　　　　② 来賓あいさつ
　　　　　北海道経済産業局
　　　　③ 講演
　　　　・「AI 開発の動向と活用」
　　　　　公立はこだて未来大学教授　鈴木　恵二　氏
　　　　・「IoT 時代のEMC（電磁両立性）」
　　　　　(株)東陽テクニカ EMCマイクロウェーブ計測部 生田　純也 氏
　　　　④ 説明
　　　　　「プラットフォームの概要と活用方法について」
　　　　　道立工業技術センター 研究主査　村田　政隆

参考

○「公立大学法人公立はこだて未来大学と北海道立工業技術センターの連携・協力に関する協定書」
○ オープンセミナー　ちらし

報道（取材）に当たってのお願い	AI分野で全国をリードする公立はこだて未来大学とものづくり企業を支える道立工業技術センターの連携した取組です。道内企業の皆さまに是非活用していただきたいため、広く報道いただきますとともに、当日の積極的な取材をお願いいたします。
他のクラブとの関係	同時配付（選択）／同時レク　(場所)　函館市政記者クラブ

担当（連絡先）	公益財団法人函館地域産業振興財団（担当者：事務局長 吉野） TEL ０１３８－３４－２６００ 北海道経済部産業振興局科学技術振興室（担当者：眞鍋、安達） TEL ０１１－２０６－６４７８（内線２６－８６８）

公立大学法人公立はこだて未来大学と北海道立工業技術センターの連携・協力に関する協定書

公立大学法人公立はこだて未来大学（以下「甲」という。）と北海道立工業技術センター（以下「乙」という。）は、次のとおり連携協定を締結する。

（目的）

第１条　本協定は、甲と乙の両機関が行う研究活動全般における交流及び連携を推進し、相互の学術研究の一層の進展と地域産業の発展に寄与することを目的とする。

（連携項目）

第２条　甲と乙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について、連携・協力するものとする。

（１）研究交流に関すること。

（２）人材交流に関すること。

（３）人材育成に関すること。

（４）研究施設の相互利用に関すること。

（５）その他甲と乙が必要と認めること。

（協定の有効期間）

第３条　本協定の有効期間は、協定締結の日から３年間とする。ただし、期間満了の３ヶ月前までに、甲又は乙のいずれからも協定の終了又は見直し等の申し出がないときは、本協定は、さらに３年間更新されるものとし、以後も同様の扱いとする。

（連携の実施）

第４条　本協定に関わる連携の実施に当たり、具体的事項およびその他必要な事項については、甲と乙が協議して別に定めるものとする。

（遵守事項）

第５条　甲と乙は、本協定に基づく連携・協力を通じて知り得た公知でない研究情報について、第三者にこれを漏洩してはならない。

（その他）

第６条　本協定に定める事項について疑義が生じた場合および本協定に定めのない事項については、甲と乙が誠意をもって協議して定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書２通を作成し、甲乙それぞれ署名押印の上、双方各１通を保有する。

令和元年（２０１９年）１０月　９日

函館市亀田中野町１１６番地２
甲　公立大学法人公立はこだて未来大学
理事長　片桐　恭弘

函館市桔梗町３７９番地
乙　北海道立工業技術センター
センター長　三浦　汀介

北海道 AI・IoT
オープンイノベーション・プラットフォーム

公立はこだて未来大学と北海道立工業技術センターは、AI・IoT 分野の機器開発・研究開発に必要となる試験・評価・研修機器を一体的に整備し、ものづくり企業の IoT 機器等の開発やビッグデータ収集、AI 技術の活用に向けた技術者育成、水産業・食品加工・観光・物流等の各分野関連企業へのシミュレーション支援といった包括的な支援を行うプラットフォームを開設します。

道内企業等の皆様にご利用いただくため、AI 開発の動向や IoT 機器試験、プラットフォームの概要と今後の活用方法について解説するセミナーを開催いたします。

令和元年 10月9日（水） 14:30~17:00

会　場　北海道立工業技術センター　会議室
（函館市桔梗町379）

内　容

【講　演】

Ⅰ　「**AI** 開発の動向と活用」
　　公立はこだて未来大学
　　　複雑系知能学科　教授　鈴木恵二　氏
　　　　昨今活発に行われている、**AI** を活用したサービスの高度化に関わる開発の事例や手法を紹介

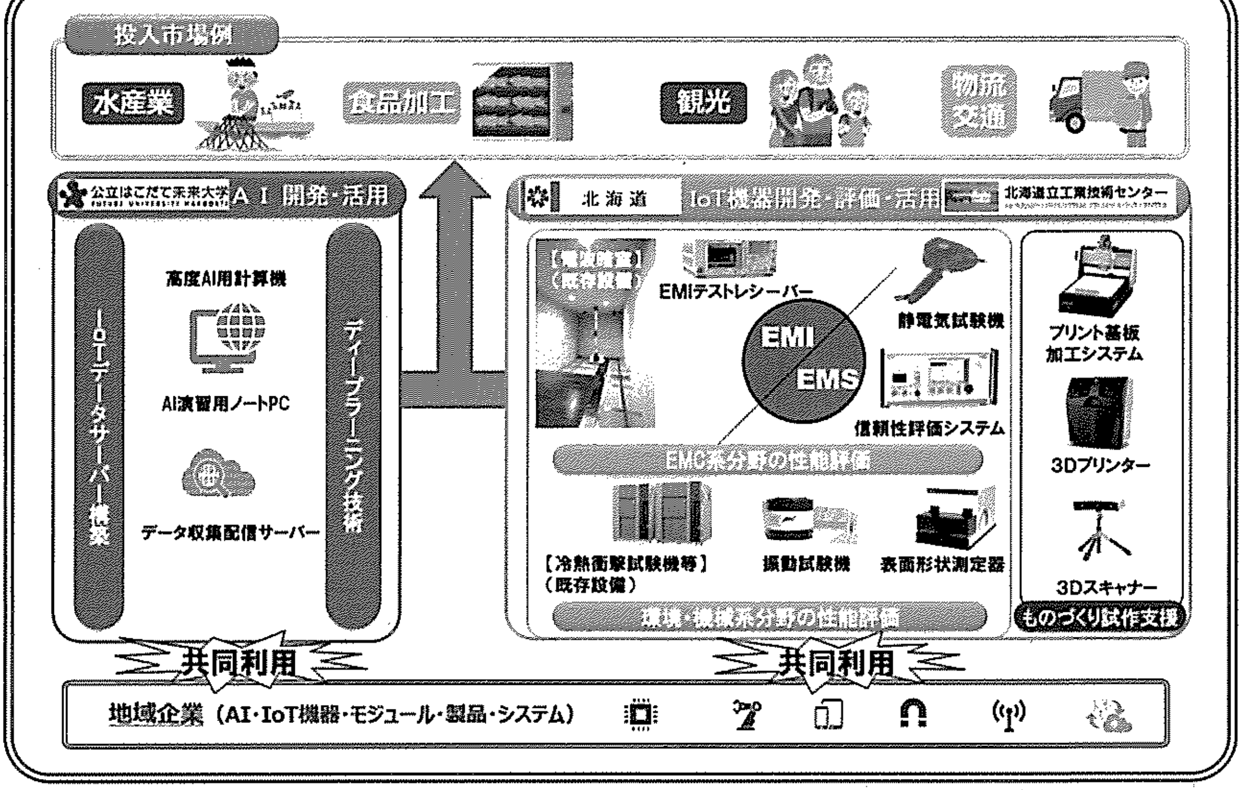
Ⅱ　「**IoT** 時代の **EMC**（電磁両立性）」
　　(株)東陽テクニカ
　　　EMC マイクロウェーブ計測部　生田純也　氏
　　　　多くの電子部品が使用される **IoT** 機器開発に必要な、電磁ノイズの影響やノイズ耐性を評価する **EMC** 試験について概説

【説　明】

「北海道 **AI・IoT** オープンイノベーション・プラットフォームの概要と活用方法について」
　北海道立工業技術センター研究開発部
　　ものづくり技術支援グループ　研究主査　村田政隆

主　　催	公立はこだて未来大学、北海道
協　　力	公益財団法人函館地域産業振興財団
対　　象	道内ものづくり・**IT** 関連企業
参 加 費	無　料
定　　員	５０名
申込方法	参加申込書（裏面）にご記入の上 ＦＡＸ 又は**E-mail** でお申込みください
申込締切	令和元年１０月４日（金）

『北海道 AI・IoT オープンイノベーション・プラットフォーム』事業イメージ



『北海道 AI・IoT オープンイノベーション・プラットフォーム』オープンセミナー
参加申込書

申込先

<u>北海道経済部産業振興局　科学技術振興室　行</u>

ＦＡＸ ０１１−２３２−１０６３　Ｅ−ｍａｉｌ：keizai.kagi@pref.hokkaido.lg.jp
ＴＥＬ ０１１−２０６−６４７８

企業名			
所 在 地			
ＴＥＬ		ＦＡＸ	

所属部署	役職	参加者氏名

※ご記入いただいた個人情報は、参加者の取り纏めや連絡等、それ以外の目的には使用いたしません。